

## 市政運営の総合指針2020の改定について

市政運営の総合指針2020の改定については、新型コロナウイルス感染症対策を優先しつつ、年度内の改定に向けて、広く市民や関係団体からもご意見をいただきながら、改定作業を進めています。9月25日開催の議員全員協議会において多くのご意見をいただき、10月以降、総合指針改定委員会での議論を通じて、基本方針改定素案をさらに精査するとともに、緊急かつ重要な課題のほか、長期課題からのバックキャストिंगをもとに重点方針の改定素案をまとめました。今回は、これまでの取組状況、新たな総合指針の素案及び今後の取組予定等について報告するものです。

### 1 庁内における検討状況

#### (1) 総合指針改定委員会の開催

理事者、部局長により構成する総合指針改定委員会を10回開催し、各部局から提案された意見、事務局案等に関する議論と意見集約を行いました。

#### (2) 重点事業に関する理事者ヒアリングの実施

11月13日から11月20日まで、新たな総合指針の重点事業候補について、部ごとに市長・両副市長によるヒアリングを実施し、検討を行いました。

#### (3) 部内会議・課内会議等での検討

各総合指針改定委員会の間に、各部各課において、新たな総合指針の重点事業候補に関する理事者ヒアリングや、基本方針改定案、重点方針改定素案作成についての庁内意見提出等のために検討を行いました。

### 2 広聴の実施状況について

#### (1) パブリックコメント（市民意見公募）（資料2）

ア 案件名 （仮称）藤沢市市政運営の総合指針2024（改定素案「第1章 基本方針」まで）

イ 期間 10月26日から11月25日まで

ウ 提出者数及び意見数 11人 42件

エ 主な意見内容

基本目標3の環境分野に関するご意見が多くありました。

オ 今後の予定

12月15日から1月13日まで、「第2章 重点方針」を加えた素案（資料8と同内容）について、2回目のパブリックコメントを実施します。

## （2）市民意識調査及び市民アンケート

総合指針に対する分析・評価として毎年実施している市民意識調査については、昨年同様に、総合指針改定の参考とするための市民アンケート（自由記述式2問）とあわせて実施しました。

ア 対象者等（共通）

（ア）対象 年代，地区を考慮し無作為抽出した20歳以上の市民

5,001人（市民意識調査は例年約3,000人）

（イ）実施期間 10月19日から11月2日まで

（ウ）回答方法 郵送回答又はインターネット回答（試行実施）

イ 市民意識調査の実施結果（資料3）

（ア）回答数 2,796人（回答率55.9%）

（イ）「めざす都市像」に関する分析・評価

都市像に関する2指標は、昨年と同様の高い評価が得られています。都市像の1（「誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。」）については、平成29年度と比べると指標値が向上し、これまでの施策・事業が総合的に評価されていると推測されます。また、都市像の2（「子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること。」）についても、平成29年度以降の3年間は指標値が75パーセントを超えていましたが、令和2年度は81.1パーセントと80パーセントを上回りました。

（ウ）「基本目標」に関する分析・評価

基本目標8項目に関する評価については、昨年から4項目で指標値が標本誤差（±2.8%）以上に向上しています。平成29年度と比べると7つの項目において指標値が標本誤差（±2.8%）以上に向上し、指標値

が低下しているものはありませんでした。

(エ)「重点施策」に関する分析・評価

多くの項目で評価が上昇傾向にあり、平成29年度から標本誤差(±2.8%)以上に指標値が下がっているのは、重点施策に関する42項目のうち、「パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んであると感じますか」という学校ICTに関する1項目のみとなっています。また、前年比では、「オリンピックに向けて活気づいていると感じますか」の項目で、大幅に指標値が低下しています。

(オ) 重要度に関する分析・評価

「重点施策」の重要度については、防災・防犯など安全安心に関する項目が最も高く、次いで、医療・福祉などの項目と子ども・子育てなどの項目が高い結果となっています。

ウ 市民アンケートの実施結果(資料4-1, 資料4-2)

(ア) 回答数 1問目 1, 945人(回答率38.9%) 2, 829件  
2問目 1, 994人(回答率39.9%) 3, 194件

(イ) 回答が多かった主なご意見

1問目【20年後(2040年頃)の藤沢市の姿について(昨年と同設問)】

昨年同様に「充実した子育て環境や教育環境で有名なまち、安心して子育てができるまちになってほしいというご意見」や「高齢者が暮らしやすいまち、高齢者にやさしいまちになってほしいというご意見」、「災害に強く治安のよい、安全安心に暮らせるまちになってほしいというご意見」などが多くありました。昨年と比べると、「最新技術を活用したスマートシティ」を求めるご意見も多くありました。

2問目【直近4年間に藤沢市が最も重点的に取り組むべきことについて】

「新型コロナウイルス感染症対策」を求めるご意見が極めて多く、「子育て・教育環境の充実」、「道路・渋滞緩和」、「高齢者・福祉・医療」、「防災」、「行政のデジタル化」などの分野で、多くのご意見がありました。

(3)「#(ハッシュタグ)ふじキュン課」プロジェクト意見募集(資料5)

ア 対象 主に市内在住、在学の高校生

- イ 期間 10月25日から11月25日まで
- ウ 内容 20年後の藤沢市をイメージし、さらに魅力的なまちになるためのアイデアをSNS（ツイッター）で募集。
- エ 方法 ふじキュン♡公式ツイッターアカウントをフォローし、ツイッターでハッシュタグ「#ふじキュン課」をつけて、アイデアを投稿。
- オ 連携 県立湘南台高校の「ソーシャルデザイン」を履修する生徒の皆さんとの意見交換をもとにプロジェクトを検討し、応募者プレゼントの選定や周知用ポスターの作成等を連携して行いました。
- カ 意見提案 25件
- キ 主な意見内容  
観光や環境分野に関するご意見などがありました。

#### （４）13地区郷土づくり推進会議からの意見聴取の状況（資料6）

地域からのご意見をいただくため、各市民センター・公民館と連携し、郷土づくり推進会議で、市政運営の総合指針2020改定についてのポイントをご説明し、意見交換及びアンケートを実施しています。

##### ア 実施日程

10月13日（火）	明治地区郷土づくり推進会議
10月13日（火）	善行地区郷土づくり推進会議
10月22日（木）	御所見地区郷土づくり推進会議
10月22日（木）	六会地区郷土づくり推進会議
10月27日（火）	わくわく未来づくり会議（湘南台地区）
10月27日（火）	湘南大庭地区郷土づくり推進会議
10月29日（木）	村岡いきいきまちづくり会議
11月9日（月）	鶴沼地区郷土づくり推進会議
11月19日（木）	片瀬・江の島まちづくり協議会
11月19日（木）	藤沢地区地域まちづくり会議
11月19日（木）	遠藤郷土づくり推進会議
11月20日（金）	長後地区郷土づくり推進会議
12月17日（木）	辻堂まちづくり会議

イ 意見提案 意見者数94人、件数306件（12月4日現在）

ウ 主な意見内容

20年後の藤沢の姿と直近4年間の重点取組のいずれについても、防災・防犯など、地域の安全・安心に関する多くのご意見のほか、多岐にわたるご意見をいただいています。直近4年間の重点取組については、新型コロナウイルス感染症対策を求め多くいただいています。

(5) 関係団体からの意見聴取の状況 (資料7)

関係団体からも幅広くご意見をいただくため、各部局と連携し、意見交換会・アンケート等を実施しています。

ア 実施日程 (予定を含む)

年月日	団体名等	方法
10月26日(月)	経済3団体連絡会議	意見交換方式
11月4日(水)	藤沢商工会議所正副会頭会議	意見交換方式
11月6日(金)	藤沢市防犯連合協議会	アンケート方式
11月10日(火)	藤沢市幼児教育協議会	アンケート方式
11月10日(火)	藤沢市生活環境連絡協議会	アンケート方式
11月13日(金)	藤沢市幼稚園協会園長会	アンケート方式
11月13日(金)	藤沢障害福祉法人協議会	アンケート方式
11月17日(火)	藤沢市地域包括支援センター連絡協議会	アンケート方式
11月18日(水)	藤沢市青少年育成協議会	アンケート方式
11月19日(木)	藤沢市青少年指導員協議会	アンケート方式
11月25日(水)	藤沢市民生委員児童委員協議会 会長会	アンケート方式
12月1日(火)	藤沢市民間保育園園長会(社会福祉法人立の園)	アンケート方式
12月3日(木)	藤沢市老人クラブ連合会	アンケート方式
12月4日(金)	法人立保育所の園長会(社会福祉法人立以外の園)	アンケート方式
12月11日(金)	小規模保育事業所の園長会	アンケート方式
12月18日(金)	藤沢市民間保育園設置法人代表者会	アンケート方式

12月22日(火)	各地区の自治町内会連合会会長への説明(予定)	意見交換方式
-----------	------------------------	--------

イ 意見提案 意見者数55人, 件数225件 (12月4日現在)

ウ 主な意見

各団体の皆様から、「子ども・子育て」や「福祉・暮らし」など、多岐にわたるご意見をいただいています。直近4年間の重点取組については、新型コロナウイルス感染症対策を求めるご意見も多くいただいています。

### 3 (仮称) 藤沢市市政運営の総合指針2024(素案)(資料8)

これまでの検討結果を踏まえ、「第1章 基本方針」までの部分を見直すとともに、「第2章 重点方針」を加えた改定素案をまとめました。なお、表記の見直しとして、「サスティナブル」を「サステナブル」に改め、「新しい日常(ニューノーマル)」を「新しい生活様式」に改めています。

#### (1) 「第1章 基本方針」までの内容の主な修正点について

主な修正箇所については、資料8の該当箇所に下線を付しています。主な修正内容については、次のとおりです。

##### 【10ページ】

「3 長期的な視点」の記載について、「3つのまちづくりコンセプト」が8つの基本目標に共通する考え方であることを明記しました。

##### 【11ページから12ページ】

「(2) めざす都市像」について、「郷土愛あふれる藤沢」についての記載に、「藤沢らしさ」を時代の変化に応じて発展させ、未来に引き継いでいけるよう、SDGsという新たな視点を取り入れたことを明記しました。

また、「(3) 3つのまちづくりコンセプト」の記載について、新たな考え方を位置づけたことについての説明を追加しました。

##### 【13ページから14ページ】

新たなコンセプトを位置づけた趣旨を踏まえ、まちづくりコンセプト2とまちづくりコンセプト3の順番を入れ替えました。

また、「インクルーシブ藤沢」の内容については、「当事者の声を大切にした政策形成を図ること」など、記載内容を追加しました。

さらに、「スマート藤沢」の内容に、「自然や文化を大切にすること」などを追加し、記載内容を改めました。

#### 【15ページから30ページ】

「(4) 8つの基本目標」については、基本目標2「文化・スポーツを盛んにする」について、記載内容を大幅に見直したほか、基本目標3について、目標名を「自然を守り豊かな環境をつくる」に改めました。また、基本目標1、基本目標3及び基本目標7の記載内容にあった「気候変動」について、すべて「気候危機」と表現を改めるなど、すべての目標について見直しを行いました。

### (2)「第2章 重点方針」の内容について

#### 【31ページから32ページ】

31ページの「1 取組の考え方」については、すべての事業の実施にあたって留意すべき共通の考え方として、引き続き、「マルチパートナーシップの推進」と「横断的連携」を位置づけるとともに、新たに『「藤沢らしさ」を大切にし、「藤沢にしかないもの」を生かす』を位置づけました。

また、32ページの「2 5つのまちづくりテーマと17の重点施策」については、市民意識調査結果などにみられる市民ニーズに基づいた課題の緊急性・重要性や、長期課題からのバックキャストイング、市長公約等から、直近4年間に重点的かつ確実に取り組むべき課題と施策を、まとめて示しています。

また、まちづくりテーマの1から4については、市民意識調査結果など、広聴でいただいたご意見を踏まえ、「安全で安心な暮らしを築く」、「健康で豊かな長寿社会をつくる」、「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」、「都市の機能と活力を高める」の順に位置づけました。まちづくりテーマ5については、市政運営の総合指針2020のまちづくりテーマ2『「2020年」に向けてまちの魅力を生み出す』を再編し、市民意識調査等による重要度の順位づけだけでは捉えきれないものとして、基本方針に位置づけた目指すべきまちの姿や長期課題からのバックキャストイングの視点から、「未来を見据えてみんなではじめる」を位置づけました。

#### 【33ページから43ページ】

5つのまちづくりテーマと17の重点施策の具体的内容の記載については、現在検討中の想定重点事業の例も、点線で四角に囲った枠内に参考記載してい

ます。

まちづくりテーマ1「安全で安心な暮らしを築く」については、新たに「感染症対策の強化」を重点施策として位置づけています。また、新たに設定したまちづくりテーマ5「未来を見据えてみんなではじめる」については、市政運営の総合指針2020のまちづくりテーマ5にある重点施策「自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進」を見直し、「豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進」に改め、重点施策に位置づけました。また、新たに「デジタル市役所・スマートシティの推進」「人材育成の推進」「次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信」を位置づけております。加えて、市政運営の総合指針2020のまちづくりテーマ2の内容を見直し、「市民参加型東京2020大会のレガシー創出」として重点施策に位置づけました。

#### 【44ページから45ページ】

最後に、「3 重点施策実現に向けた財政見通し」「4 評価」「5 重点施策の実現に向けた重点事業」についての説明を記載しております。

## 4 今後の取組予定

引き続き、市民や関係団体の皆様から幅広くご意見をいただき、検討を重ねるとともに令和3年度当初予算の編成にあわせて、重点事業の選定を進めます。

なお、重点方針、重点事業については、引き続き、「2021年の東京2020大会開催の見通しを踏まえる必要があること」、「令和2年度中に中期の財政状況が見通せない状況になったこと」、「第3次公共施設再整備プランの策定内容と整合を図る必要があること」なども考慮し、柔軟に改定作業を進めます。

(仮称)市政運営の総合指針2024(案)と重点事業(案)等については、令和3年2月市議会定例会前に4回目の議員全員協議会開催をお願いし、ご報告するとともに、基本方針の部分については、同定例会に議案として提出したいと考えています。

さらに、地方創生推進交付金等の活用を図るため、新たな総合指針と整合を図った地方版総合戦略(藤沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略)の改定を行うとともに、SDGs推進のための方針策定を進めます。

(事務担当 企画政策部 企画政策課)